

小型分散型発電システム用系統連系装置 認 証 証 明 書 (最新版)

東京都渋谷区代々木5-14-12
一般財団法人電気安全環境研究所
理事長 薦田 康久



2017年6月27日付け(受付番号:P17-0415号)で申込みのありました下記の製品は、小型分散型発電システム用系統連系装置等のJET認証業務規程第7条2項の規定により、下記のとおり発行いたします。

記

認 証 取 得 者

住 所：熊本県阿蘇市一の宮町宮地4429番地
氏 名：オムロン阿蘇株式会社

認証製品を製造する工場

住 所：熊本県阿蘇市一の宮町宮地4429番地
工場名：オムロン阿蘇株式会社

認 証 登 録 番 号：MP-0013

認 証 登 録 年 月 日：2012年7月26日

有 効 期 限：2017年7月25日

試 験 成 績 書 の 番 号：第17TR-RC0230号

製 品 の 型 名 等

認証モデルの名称：系統連系保護装置および系統連系用インバータ

認証モデルの用途：多数台連系対応型太陽光発電システム用

認証モデルの型名：KP30K2, KP30K2-SS, KP30K2-ST, KP30K2-HQ, KP30K2-A 及び KP30K2-HQ-A

認 証 モ デ ル の 仕 様

1) 連系対象電路の電気方式等

- a. 電 気 方 式：単相2線式
- b. 電 圧：202V
- c. 周 波 数：50Hz/60Hz

2) 最大出力、運転力率

- a. 最 大 出 力：3.0kVA
- b. 運 転 力 率：0.95以上

3) 系 統 電 圧 制 御 方 式：電圧型電流制御方式

4) 連系保護機能の種類

- a. 逆 潮 流 の 有 無：有
(逆電力機能の有無)：無
- b. 単 独 運 転 防 止 機 能
 - (a) 能 動 的 方 式：ステップ注入付周波数フィードバック方式
 - (b) 受 動 的 方 式：周波数変化率検出方式
- c. 直 流 分 流 出 防 止 機 能：有
- d. 電 圧 上 昇 抑 制 機 能：進相無効電力制御 及び 出力制御

5) 保護機能の整定範囲及び整定値：裏面に記載

6) a. 適合する直流入力電圧範囲：60~385V

b. 適合する直流入力数：1

7) 自 立 運 転 の 有 無：有

8) ソフトウェア管理番号：Ver. 5.01 (JEM1498補足情報対応)
Ver. 1.80 (JEM1498補足情報非対応)

特 記 事 項：FRT要件対応、遠隔出力制御(広義)対応及びJEM1498補足情報対応
その他の情報は、別紙参照

(裏面に続く)

(整定値は、認証試験時の整定値です。)

保護機能の仕様及び整定値

保 護 機 能		整 定 値
交流過電流 ACOC	検出レベル	21A
	検出時限	0.5秒以下
直流過電圧 DCOVR	検出レベル	385V
	検出時限	0.5秒以下
直流不足電圧 DCUVR	検出レベル	60V
	検出時限	0.5秒以下
直流分流出検出	検出レベル	75mA
	検出時限	0.5秒以下

保護リレーの仕様及び整定値

保 護 リ レ ー		整 定 値	整 定 範 囲	
交流過電圧 OVR	検出レベル	115.0V	110.0, 112.5, 115.0, 120.0V	
	検出時限	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒	
交流不足電圧 UVR	検出レベル	80.0V	80.0, 85.0, 87.5, 90.0V	
	検出時限	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒	
周波数上昇 OFR	検出レベル	50Hz	51.0Hz	50.5, 51.0, 51.5, 52.0Hz
		60Hz	61.0Hz	60.5, 61.0, 61.5, 62.0Hz
	検出時限	0.5秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒	
周波数低下 UFR	検出レベル	50Hz	48.5Hz	47.5, 48.0, 48.5, 49.0, 49.5Hz
		60Hz	58.5Hz	57.0, 57.5, 58.0, 58.5, 59.0, 59.5Hz
	検出時限	1.0秒	0.5, 1.0, 1.5, 2.0秒	
逆電力 RPR	検出レベル	—		
	検出時限	—		
復電後一定時間の遮断装置投入阻止		300秒	150, 200, 300, 2秒, 手動復帰	
電圧上昇抑制機能	進相無効電力制御/ 出力制御	106.0/109.0V	105.0/107.0V, 105.0/107.5V, 105.0/108.0V, 105.5/108.5V, 106.0/109.0V, 106.5/109.5V, 107.0/110.0V, 107.5/110.5V, 108.0/111.0V, 108.5/111.5V, 109.0/112.0V, 109.5/112.5V, 110.0/113.0V	

単独運転検出機能の仕様及び整定値

検 出 方 式		整 定 値	整 定 範 囲	
受動的方式	周波数変化率 検出方式	検出レベル	—	
		検出時限	0.5秒以内	
		保持時限	—	
能動的方式	ステップ注入 付周波数フィ ードバック方 式	検出レベル	—	
		検出要素	周波数変動	—
		解列時限	瞬時	—

速断用(瞬時)過電圧の整定値

保 護 リ レ ー		整 定 値
瞬時交流過電圧 OVR	検出レベル	123V
	検出時限	0.5秒以下

(認証証明書記載事項変更履歴)

別紙のとおり

特記事項：

ソフトウェア管理番号の詳細は下記の通りである

【5.01】JEM1498 補足情報対応 KP30K2-A, KP30K2-HQ-A (製造番号右横に識別子「VC」印字有)

【1.80】JEM1498 補足情報非対応 KP30K2-A, KP30K2-HQ-A (製造番号右横に識別子「VC」印字無)
KP30K2, KP30K2-ST, KP30K2-SS 及び KP30K2-HQ

出力制御装置の型名：別表参照

逆潮流防止用CTの型名：別表参照

遠隔出力制御（広義）の組み合わせの詳細は別表の通りである
(別表)

パワーコンディショナ (狭義)	出力制御装置		逆潮流防止用CT
	型名	ソフトウェア 管理番号	
認証モデルの型名参照	KP-MU1F-M, KP-MU1F-NE, KP-MU1F-M-SS	Ver. 3.0.3.0	なし

(認証証明書記載事項変更履歴) ※JET確認書発行年月日/変更実施年月日

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. 2013年 3月19日/2013年 4月 8日 | ①認証モデルの型名追加：KP30K2-ST及びKP30K2-HQの追加 |
| 2. 2013年 7月 2日/2013年 8月26日 | ①ソフトウェア管理番号の変更：Ver1.70 に変更 |
| 3. 2014年 2月26日/2014年 3月31日 | ①周波数低下UFRの整定範囲の変更(50及び60Hz)
②電圧上昇抑制機能の変更
③復電後一定時間の遮断装置投入阻止の整定範囲の変更
④交流過電流の検出レベル整定値の変更：21A
⑤特記事項の記載内容変更
⑥ソフトウェア管理番号の変更：Ver1.71 |
| 4. 2014年 6月16日/2014年 6月30日 | ①各認証モデルの型名毎にソフトウェア管理番号の変更 |
| 5. 2014年12月 4日/2014年 3月 1日 | ①認証モデルの型名追加変更：TPV-PCS0300B1の追加 |
| 6. 2014年12月 5日/2014年 3月 1日 | ①認証モデルの型名削除変更：TPV-PCS0300B1を登録削除 |
| 7. 2015年 4月 7日/2015年 4月 7日 | ①特記事項の記載内容変更
②ソフトウェア管理番号の変更：Ver1.80
③認証モデルの型名追加：KP30K2-A及びKP30K2-HQ-Aの追加 |
| 8. 2016年 2月12日/2016年 2月12日 | ①ソフトウェア管理番号の変更：Ver. 1.81 及び Ver. 1.80 |
| 9. 2016年 2月12日/2016年 2月12日 | ①ソフトウェア管理番号の変更：Ver. 5.00 及び Ver. 1.80 |
| 10. 2016年 6月17日/2016年 8月 1日 | ①ソフトウェア管理番号の変更：Ver. 5.01 及び Ver. 1.80 |
| 11. 2017年 7月21日/2017年 7月21日 | ①特記事項の変更：遠隔出力制御（広義）対応
②特記事項の変更：別表に記載している出力制御装置の追加 |

以上